

現在、広南病院では、全国の病院に入院され頸動脈ステント留置術を行われた方の診療情報を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、広南病院倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【研究課題名】 非弁膜症性心房細動合併頸動脈ステント留置術における周術期抗血栓療法と合併症の実態の把握

【研究対象者】 2021年6月までに当院において非弁膜症性心房細動を合併した頸動脈狭窄症に対し頸動脈ステント留置術（CAS）が施行された方

【利用している診療情報の項目】

年齢、性別、飲酒歴、喫煙歴、既往歴（高血圧症・脂質異常症・糖尿病・うっ血性心不全・虚血性心疾患・過去の虚血性脳卒中）、心房細動の種類、発症時症状、頸動脈エコー検査所見、脳血管撮影検査所見、ステント留置術施行年月、ステント留置術前後の内服薬、ステント留置術後脳卒中発症、生存状況

【利用の目的】

心房細動を合併し頸動脈ステント留置術が施行された方の周術期抗血栓療法と合併症の実態を把握し医療の質の向上に役立てることを目的としています。

【外部機関との研究データの授受】

上記の診療情報を、下記機関から提供を受け、共同で研究を進めます。

〔主な提供方法〕 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他

・主な共同研究機関及び研究責任者

1. 岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野教授 岩手医科大学附属病院脳卒中センター長 板橋亮
2. 岩手県立中央病院・脳神経内科 土井尻遼介

【利用期間】 2021年7月より2026年6月までの間（予定）

【この研究での診療情報の取扱い】

広南病院倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：広南病院 脳血管内科部長 矢澤由加子

研究内容の問い合わせ担当者：広南病院 脳血管内科 川端雄一

022-248-2131（代表）

（応対可能時間：平日9時～17時）